

第41回海洋開発シンポジウム

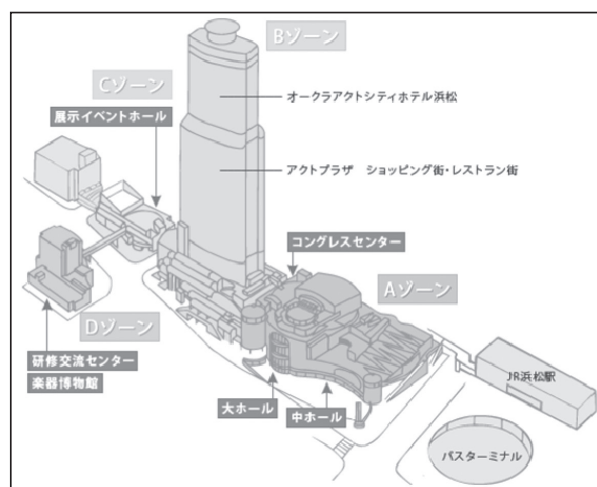
2016年6月23日[木]～24日[金]

CPD 認定プログラム
JSCE16-0433 11.8 単位

- 主催：土木学会（担当：海洋開発委員会）
- 後援：国土交通省中部地方整備局、静岡県、浜松市
- 開催期日：2016年6月23日（木）～24日（金）
- 会場：アクトシティ浜松コングレスセンター（浜松市中区板屋町111-1）<http://www.actcity.jp/floor/congress/>
- 参加方法：参加無料、自由参加（事前の申込は不要です。当日会場へ直接ご来場ください。）
- 講演集：講演集（CD-ROM媒体）は、委員会ホームページにて事前販売および当日販売いたします。
価格：2,000円（消費税、送料込）
- 発表時間：1論文15分（発表10分、討議5分）
- 懇親会：(1) 日時：6月23日（木）18:30～
(2) 場所：コモンス・アクトシティ浜松（アクトプラザ5F）
(3) 参加費・受付：5,000円、シンポジウム会場総合受付にてお申し込みください。

- 見学会：(1) 日時：6月24日（金）9:30～12:00
(2) 見学場所：浜松市沿岸域防潮堤整備事業
(3) 参加費・受付：無料、シンポジウム会場総合受付にてお申し込みください。
(4) 定員：25名（先着順）
- 前日見学会：(1) 日時：6月22日（水）12:00～17:30（JR浜松駅周辺発着）
(2) 見学場所：中部電力浜岡原子力発電所津波防波壁
(3) 参加費・受付：無料（土木学会会員に限ります）、申込期限：5/27（金）。
(4) 定員：30名（申し込み多数の場合は抽選）

※プログラム等の詳細につきましては、土木学会海洋開発委員会ホームページをご覧ください。（http://committees.jsce.or.jp/ocean/sympo_top）
※本シンポジウムは、土木学会CPD（継続教育）プログラムとして認定されています。
※問合せ先：土木学会事務局 研究事業課（担当：松沼）
TEL03-3355-3559



JR浜松駅北口から2F連絡通路の動く歩道でのアクセスが便利です

1日目：2016年6月23日（木）

時間	第1会場 (4階41会議室)	第2会場 (3階31会議室)	第3会場 (4階43+44会議室)	第4会場 (5階52+53+54会議室)	第5会場 (2階22+23会議室)
9:40 - 9:45	開会挨拶				
9:50 - 10:55	海洋環境の保全	波浪推算1	海洋施設の耐震	海域の流動・拡散	潮位変動と漂砂
11:05 - 12:25	海岸侵食・保全	波浪推算2	耐津波構造物と避難	海洋の土質・基礎	海洋施設の材料
12:25 - 13:30	昼休憩				
13:30 - 14:50	海浜変形1	海域の流動・副振動	耐津波構造物の安定性	海洋の調査・計測1	海域の生態系1
15:00 - 16:05	海浜変形2	気象・海象	海洋施設と地形変化	海洋の調査・計測2	海域の流動・地形変化
16:15 - 18:00	特別セッションS-1 静岡県沿岸域における海岸保全	特別セッションS-2 高潮防災			

2日目：2016年6月24日（金）

時間	第1会場 (4階41会議室)	第2会場 (3階31会議室)	第3会場 (4階43+44会議室)	第4会場 (5階52+53+54会議室)	第5会場 (2階22+23会議室)
9:30 - 10:50	津波数値計算	液状化	海洋施設の施工	海洋エネルギー	海域の生態系2
11:00 - 12:20	津波と地形変化	地盤と遮水	海洋施設の維持管理	海洋の利用	海域の生態系3
12:20 - 13:25	昼休憩				
13:25 - 14:45	津波による流動の影響	地盤改良	海洋の底質環境	港湾・漁港施設の整備	海域の生態系4
14:55 - 16:00	海洋施設の設計	地盤の構造	波圧・波力	汀線変動と遡上	海上輸送
16:00 - 16:05	閉会挨拶				

【発表者のみなさまへ】

- 発表時間は、1論文15分（発表10分、討議5分）です。
 - 発表方法は、会場に用意されたパソコンとプロジェクタによるプレゼンテーションのみとします。（OHP等不可）
 - プレゼンテーションソフトは、「Microsoft Power Point2010」であり、OSは「Windows7 Pro」です。
 - パソコン再生の互換性が低い動画ファイル（*.mpg, DivX）等の使用は控えて下さい、再生されない場合があります。
 - 発表前の休憩時間に、会場に設置されたパソコンに、USBメモリ（各自持参）を使って、発表用ファイルをコピーして下さい。（CD-R, MO等不可）
- 【注意事項】二日目の各会場第一セッションは、開場からセッション開始まで時間が短いので、出来るだけ一日目の休憩時間や昼食時間に発表ファイルをコピーしてください。
- 各自持参のUSBメモリは、ご自身のパソコンで【ウイルスチェック】を事前に行ってください。

「第41回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第1会場(4階4会議室)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
9:40~9:45 第一会場 開会挨拶 委員長						
6/23 (木)	9:50 ~ 10:55	海洋環境の保全 小竹康夫 東洋建設(株)	1	大中晋	モーリシャス国における環境法の有効性に関する検討	大中晋 市川真吾 橋本宏 遠藤秀文
			2	佐賀宏	州島の形成とサンゴ砂礫の移動に関する現地調査	佐賀宏 田島芳満 琴浦毅 前田勇司 茅根創
			3	市川真吾	島嶼国における持続可能性を考慮した海岸保全対策の提案	市川真吾 大中晋 泉正寿 遠藤秀文 宇多高明
			4	齊藤翔太	マングローブ沼地における竹樺による消波効果に関する研究	鈴木崇之 岡崎光平 佐々木洋 <small>Thamon Phommamane</small> Anurak Sriariyawat 齊藤翔太 中村由行
休憩 10分						
11:05 ~ 12:25	海岸侵食・保全 鈴木崇之 横浜国立大学	5	Vo Cong Hoang	Google Earthを用いた汀線判読のための潮位補正手法	Vo Cong Hoang 田中仁 三戸部佑太 Dinh Van Duy	
		6	Tran Minh Thanh	ベトナム・ニャチャン海岸における漂砂特性の季節変動に関する検討	Tran Minh Thanh 田中仁 三戸部佑太 Nguyen Trung Viet Vo Cong Hoang	
		7	山本吉道	タイ国Khlong Wan海岸での海岸侵食と保全施設改良の検討	山本吉道 Uba Sirkasew Kornvith Silarom	
		8	Chun-Hung Pao	Beach erosion on Golden Beach in south Taiwan	Takaaki Uda Tsung-Hsien Tsai Yu-Hsiang Lin Chun-Hung Pao	
9	三上康光	VietnamのVan Phong Bay内のBig Island周辺における陸架砂州の発達	宇多高明 小林昭男 伊達文美 三上康光 芹沢真澄			
休憩 65分						
13:30 ~ 14:50	海浜変形1 有働恵子 東北大学	10	大谷靖郎	2015年夏季の台風時の高波浪による一宮-一松海岸の侵食	宇多高明 大谷靖郎 大木康弘	
		11	永瀧康平	東条前原海岸の長期的変遷と2015年の台風時高波浪による急激な侵食	野志保仁 永瀧康平 小林昭男 宇多高明 三上康光	
		12	宇多高明	日立市河原子海水浴場で進む急激な侵食の実態	宇多高明 大木康弘 三波俊郎	
13	三波俊郎	北九十九里浜の汀線変化と飯岡漁港周辺における海浜変形の実態	宇多高明 三波俊郎 大谷靖郎 大木康弘			
休憩 10分						
15:00 ~ 16:05	海浜変形2 斎藤武久 金沢大学	14	村井寛昌	下新川海岸の片貝川河口付近での海底谷への土砂落ち込みと海岸保全	宇多高明 伏木祐二 村井寛昌 大谷靖郎 大木康弘	
		15	岸本周平	明石川河口砂州周辺における波・流れの特徴と土砂移動特性	宇野宏司 岸本周平 辻本剛三 柿木哲哉	
		16	鈴木 悟	富士海岸にある暗渠・セッドバック型放水路周辺の海浜形状の比較	宇多高明 石川仁憲 三波俊郎 石野 巧 鈴木 悟 岡本 光永	
17	水野良幸	静岡清水海岸におけるsand bodyの移動実態と養浜効果の検証	石川仁憲 宇多高明 水野良幸 佐藤雅史 三波俊郎			
休憩 10分						
16:15 ~ 18:00	特別セッション S-1 静岡県沿岸域における海岸保全 エーガナワー 加藤茂 豊橋技術科学大学 コーポレート 高橋政久 金沢大学 数本義之 横浜国立大学	S1-1	佐藤雅史	清水海岸(三保松原)における景観改善の取組	佐藤雅史 栗田真勇 海野雅之	
		S1-2	伊藤鎌太郎	福田漁港・浅羽海岸サンドバイパスシステムの取り組み	伊藤鎌太郎 高塚博 戸田晃裕	
		S1-3	鈴木健泰	浜松市沿岸域におけるCSG防波堤の整備	伊東信幸 鈴木健泰 寺田知史	
		S1-4	秦吉弥	南海トラフ巨大地震における静岡県沿岸域での推定地震動の作用が津波避難に及ぼす影響	秦吉弥 湊文博 常田賢一 青木伸一 鍛田泰子 小山真紀	
		S1-5	横山卓司	BGMモデルによるL型・Y型突堤の機能性比較-清水海岸の例	横山卓司 大石昌仙 宇多高明 石川仁憲 宮原志帆 芹沢真澄	

「第41回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第1会場(4階4会議室)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/24 (金)	9:30 ~ 10:50	津波数値計算 川崎浩司 (株)ハイドロソフト技術研究所	18	黒田耕平	地殻変位データを用いた地震断層の走向、傾斜角およびすべり量の推定精度に関する研究	黒田耕平 泉宮尊司
			19	佐藤兼太	外力項に着目した格子ボルツマン法による津波数値計算の高精度化に関する研究	佐藤兼太 ADRIANO Bruno 越村俊一
			20	永島弘士	数値解析を用いた東北地方太平洋沖地震時の松島湾における津波減勢要因の考察	永島弘士 石堂龍大 米山望 William James PRINGLE
			21	池谷毅	エネルギー法による海岸線近傍の遡上津波の特性の評価法	池谷毅 高橋俊彦 福山貴子 末長清也 喜々津仁密 壁谷澤寿一 岩田善裕 奥田泰雄
休憩 10分						
11:00 ~ 12:20	津波と地形変化 田島芳満 東京大学	22	鈴木愛美	浮遊砂による流体の粘度の変化と一様流および津波による流動場に対する影響に関する研究	中村友昭 鈴木愛美 趙容桓 水谷法美	
		23	藤田祥平	伊勢湾・三河湾における津波最大水位とその到着時間の空間分布に関する考察	藤田祥平 加藤茂 岡田拓巳	
		24	有働恵子	2004年インド洋大津波と2011年東日本大震災による汀線変化特性の比較	有働恵子 武田百合子	
		25	二階堂竜司	航空レーザ測量を用いた東北地方太平洋沖地震津波による地形変化の実態	諏訪義雄 二階堂竜司 浜口耕平 原野崇 渡辺広国 中園大介 原文宏 青木伸一	
26	八木澤順治	現地観測および水路模型実験による震災後の浪板海岸の漂砂動態評価	八木澤順治 武村武 小野翔太郎 板橋直樹 篠嶋賢一 鈴木純平 田中規夫			
休憩 65分						
13:25 ~ 14:45	津波による流動の影響 荒木進歩 大阪大学	27	浜口耕平	東日本大震災における津波漂流物の範囲と量の推定	浜口耕平 原野崇 二階堂竜司 中園大介 原文宏 諏訪義雄	
		28	野島和也	津波漂流物の不確定性を考慮した実用的な被害予測手法の開発	野島和也 桜庭雅明 小園裕司	
		29	櫻澤崇史	漂流物群と冠流の相互作用に関する研究	田島芳満 柳ヶ谷道也 櫻澤崇史	
		30	深津圭佑	GRS防波堤の耐越流特性に関する模型実験	深津圭佑 小林真瑠 菊池善昭 兵動大一 二瓶泰雄 倉上由貴 龍岡文夫	
31	伊藤政博	東日本太平洋沖地震津波に耐えた宮城県南部海岸の海岸林樹木の樹齢	伊藤政博 馬場慎一			
休憩 10分						
14:55 ~ 16:00	海洋施設的设计 織田幸伸 大成建設(株)	32	山本勘太	3次元波浪場における上部斜面堤堰の動揺特性に関する実験的研究	中村友昭 伊藤早紀 山本勘太 趙容桓 水谷法美 小竹康夫	
		33	岸田智之	大型石灰貯蔵体の弾性応答特性に与える積載方法の影響に関する基礎的研究	惠藤浩明 佐藤千昭 増田光一 居駒知樹 岸田智之 久保田充	
		34	界悟志	消波工の最下層に設置されるブロックに作用する上載荷重の特性	界悟志 久保田真一 松本朗 千々和伸浩 岩波光保	
		35	勝呂基弘	鋼杭補強防波堤の補強効果に及ぼす杭の曲げ剛性の影響に関する模型型中載荷重実験	勝呂基弘 菊池善昭 兵動大一 山崎佑太朗 玉置才哉子 森安俊介 及川森	
休憩 10分						
16:00~16:05 第一会場 閉会挨拶 幹事長						

「第41回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第2会場(3階31会議室)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名	
6/23(木)	9:40~9:45 第一会場 開会挨拶 委員長						
	9:50 ~ 10:55	波浪推算1 川口浩二 (国研)港湾空港技術研究所	36	日野幹雄	第3世代モデルSWANに基づく波浪推算結果に及ぼす各種パラメータの影響解析	井内国光 山口正隆 野中浩一 日野幹雄 畑田佳男	
			37	井内国光	波浪推算に基づく波高・周期の推定値に及ぼすスペクトル幅の影響	野中浩一 山口正隆 日野幹雄 宇都宮好博 畑田佳男 井内国光	
			38	山口正隆	東シナ海における最近の異常台風時波浪の推定	山口正隆 野中浩一 井内国光 日野幹雄 畑田佳男	
			39	鈴木善光	WAMとWAVEWATCH IIIによる推算波浪の再現特性	鈴木善光 高山知司 吉永泰祐 岡田弘三 窪田和彦 宇都宮好博 松藤絵理子 君塚政文	
	休憩 10分						
	11:05 ~ 12:25	波浪推算2 柴木秀之 (株)エコー	40	琴浦毅	波浪推算モデルによる低波浪時の有義波推算精度を低下させる要因の検討	琴浦毅 田中仁	
			41	鈴山勝之	陸上地形の影響を考慮した内湾海上風を求めするための新たな方法	鈴山勝之 品川円宏 木下徹也 加藤広之	
			42	樋口直人	設計沖波の検討に新たな海上風推算モデルを用いる試み	鈴山勝之 鳥袋均 仲村哲 川崎幸幸 加藤広之 西崎孝之 樋口直人	
			43	松浦知徳	地形効果による寄り回り波の波浪特性	太田俊紀 松浦知徳 村上智一 下川信也	
	44	Fitri Suciaty	Efficient Configurations for Computing Nonlinear Energy Transfer in Gravity Wave Spectrum	Fitri Suciaty 橋本典明 横田雅紀 山城賢			
	休憩 65分						
	13:30 ~ 14:50	海域の流動・副振動 平山克也 (国研)港湾空港技術研究所	45	高尾敏幸	潮力発電所周辺の強流域の流況特性	高尾敏幸 Lee, Jae Hyung 柴木秀之	
			46	見島正典	内灘海岸における離岸流の連続観測	見島正典 武若聡 福元正武 石野芳夫 坂井良輔 小野信幸 黒木敬司	
			47	山口龍太	九州周辺海域におけるあびきの伝播、増幅に及ぼす微気圧変動および潮汐変動の影響について	山口龍太 高山隼斗 金洙洙 加藤得也 藤本秀幸 中條杜大	
48			仲井圭二	全国沿岸における副振動の広域的出現特性	仲井圭二 橋本典明 額田恭史		
49	谷川正寛	鹿児島湾において夏季に発生する副振動の特徴	新原垂希子 谷川正寛 山城徹 加古真一郎 城木一義				
休憩 10分							
15:00 ~ 16:05	気象・海象 下迫健一 (国研)港湾空港技術研究所	50	平山克也	長いリーフ上でのサーフビート波高の分布特性に関する数値的考察	平山克也 相田康洋		
		51	野中浩一	気象庁MSM風資料の精度評価	野中浩一 山口正隆 井内国光 日野幹雄 畑田佳男		
		52	中尾直幸	日本周辺における台風来襲特性の将来変化に関する検討	横田雅紀 中尾直幸 児玉充由 橋本典明 山城賢		
		53	園田彩乃	博多湾における高潮の発達特性に関する基礎的研究	山城賢 園田彩乃 百合野大久 久保真之 横田雅紀 橋本典明		
休憩 10分							
16:15 ~ 18:00	特別セッション S-2 高潮防災 エド・オナー 下迫健一 橋本典明 九州大学 コード・オナー 下迫健一 (国研)港湾空港技術研究所 齋藤久 金沢大学	S2-1	川崎浩司	巨大地震・台風の複合災害による大阪湾沿岸部の高潮浸水予測	川崎浩司 金明奎 下川信也 村上智一		
		S2-2	淺井正	気候変動への適応における高潮対策の動向とその実行に向けた技術的課題	淺井正		
		S2-3	中條杜大	水位上昇速度に着目した八代海湾奥での高潮災害の特徴分析と水防活動の関連について	中條杜大 藤本秀幸 金洙洙		
		S2-4	竹下哲也	台風モデル設定に資する台風経路別の中心気圧及び移動速度の変化特性の考察	竹下哲也 姫野一樹 富永侑歩 伍井稔 加藤薫一 諏訪義雄		

「第41回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第2会場(3階31会議室)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名	
6/24(金)	9:30 ~ 10:50	液状化 中村友昭 名古屋大学	54	島俊郎	海底地盤の液状化対策としての微生物固化技術の適用性評価	島俊郎 阿部廣史	
			55	大矢陽介	液状化地盤における地下構造物周辺地盤のひずみ履歴と地表面沈下に関する模型振動実験	大矢陽介 小濱英司 佐伯嘉隆 佐藤成	
			56	小林孝彰	余震による液状化を対象とした非排水線り返し中空ねじりせん断試験	小林孝彰 佐々真志 渡辺啓太 山崎浩之	
			57	竹之内真至	隆起抑制効果と液状化対策効果が向上した新たなCPG 工法の開発	竹之内真至 佐々真志 山崎浩之 足立雅樹 高田圭太 岡見強 金子誓 善功企	
			58	佐々真志	液による液状化と地盤流動への影響:最新事例分析	佐々真志	
	休憩 10分						
	11:00 ~ 12:20	地盤と透水 佐々真志 (国研)港湾空港技術研究所	59	喜古真次	廃棄物処分場の透水基盤を貫通する杭の施工性に関する研究	喜古真次 菊池善昭 兵動大一 神戸泉慧 引地宏隆 平尾隆行 竹本誠	
			60	倉科孝	地盤の密度の違いが開端杭の先端支力発現機構に及ぼす影響	倉科孝 菊池善昭 兵動大一 中野彰子 原宏幸	
			61	水谷崇亮	水島港における杭の衝撃載荷試験に基づくハイリー式の補正とその適用範囲の検討	水谷崇亮 松村聡	
			62	片桐雅明	液状化地盤に対する真空圧密工法の適用と嵩上げ築造時の地盤挙動	中道正人 山口誠 梅山崇 山本修司 川原修 大石幹太 片桐雅明	
	63	新倉博	真空圧密におけるドレーンから粘土への負圧伝播過程に関する基礎的研究	新倉博 堤彰人 熊谷隆宏 竹山智英 北詰昌樹			
	休憩 65分						
	13:25 ~ 14:45	地盤改良 菊池善昭 東京理科大学	64	三原一輝	微生物機能を活用したセメント改良土の劣化抑制技術に関する検討	三原一輝 末次大輔 笠間清伸 島俊郎	
			65	渡辺健一	石灰灰とセメント混合率を調整した海砂代替材の化学組成評価	中本健二 井上智子 松尾暢 渡辺健一 樋野和俊 日比野忠史	
			66	堂本佳世	脱水固化処理した閉門航路液状土の一軸圧縮強度特性	堂本佳世 笠間清伸 平澤充成 善功企 中道正人 山口誠 梅山崇 片桐雅明	
67			堤彰人	短繊維・製鋼スラグ混合土の土質透水材としての適用性の検討	堤彰人 田中裕一 山田耕一		
68	梁順普	玄武岩の多孔質性による力学特性の変化と設計強度パラメータ	梁順普 佐々真志				
休憩 10分							
14:55 ~ 16:00	地盤の構造 松田達也 豊橋技術科学大学	69	本田秀樹	カルシア改質土を覆付け材とした人工干潟構造の開発	本田秀樹 土田孝 谷数多穂 林正宏 山田耕一 熊谷隆宏 柳橋寛一 牧野常雄		
		70	渡部要一	人工干潟におけるMASWによる液状土砂構造モニタリング:水没エリアでのハイドロフォンの適用	渡部要一 佐々真志 金子崇 橋本裕司		
		71	仁科晴貴	沿岸域に覆砂した石灰灰造粒物の移動予測に関する研究	仁科晴貴 中本健二 樋野和俊 中下慎也		
		72	玉井昌宏	新潟県内海岸の砂の色彩と地質構造との関係	玉井昌宏 辻本剛三 細山田徳三		
休憩 10分							
16:00~16:05 第一会場 開会挨拶 幹事長							

「第41回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第3会場(4階43+44会議室)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/23(木)	9:40~9:45 第一会場 開会挨拶 委員長					
	9:50 ~ 10:55	海洋施設の耐震 小澤英司 (国研)港湾空港技術研究所	73	宇野州彦	鋼管杭式橋樑に制震ダンパーを適用した耐震補強工法の開発に関する実験的研究	宇野州彦 三好俊康 荒水照夫 大塚久哲
			74	寺島彰人	地盤変形等の影響を考慮した橋樑の簡易耐震性能照査法に関する基礎的研究	寺島彰人 長尾毅 大澤史崇
			75	長尾毅	那覇港周辺の地盤のS波速度構造に関する研究	長尾毅 伊藤佳洋 山田雅行 森田真弘
			76	福田健	近畿地方及び九州地方の港湾におけるサイト増幅特性の簡易評価	長尾毅 福田健 伊藤佳洋 山田雅行
	休憩 10分					
	11:05 ~ 12:25	耐津波構造物と避難 木村克俊 富岡工業大学	77	鈴木直樹	杭式透過型防波柵の津波低減効果に与える空間率および柵素材の影響に関する実験的研究	鈴木直樹 石原行博 磯部雅彦
			78	中村文則	橋桁に作用する津波波力の再現とその周辺地形が与える影響に関する研究	中村文則 田中泰司 工藤進平 細山田得三
			79	小山真紀	津波避難施設の新設場所の選定に関する一考察—南海トラフ巨大地震を対象とした和歌山県田川町を例として—	秦吉弥 湊文博 小山真紀 飯田泰子 中嶋唯貴 常田賢一
			80	湊文博	避難余裕時間に基づく津波避難困難区域の抽出手法に関する適用性の評価—1993年北海道南西沖地震による奥尻島育苗地区を例として—	湊文博 秦吉弥 中嶋唯貴 小山真紀 飯田泰子 山田雅行 常田賢一
			81	阿部幸樹	東日本大震災の漁港災害復旧工事受発注における対応と課題	阿部幸樹 高野伸崇 田原正之 長野章
	休憩 65分					
	13:30 ~ 14:50	耐津波構造物の安定性 久保田真一 (株)不動テトラ	82	井上翔太	粘り強い防波堤構築のための被覆ブロックの形状に関する考察と模型実験	井上翔太 笠間清伸 平澤充成 善功企 古川全太郎 八尋裕一
			83	多田毅	鉄線籠マントレスの耐津波安定性に関する実験	多田毅 宮田善壽 藤本和隆 大城戸秀人
			84	佐藤昌宏	防波堤捨石マウンド内の津波浸透流に対する覆土工の効果検討	佐藤昌宏 大村厚夫 柴田大介 上原甲太郎 及川隆 青木伸之
85			本田隆英	津波越流時の海岸堤防に生じる局所圧力に関する固定床水理実験	本田隆英 小侯哲平 織田幸伸 伊藤一教	
86			西畑剛	空気袋構造形式の津波堤防に関する実験的研究	西畑剛 前田勇司 梶尾孝之 山本浩二	
休憩 10分						
15:00 ~ 16:05	海洋施設と地形変化 高木利光 (千代田エンジニアリング(株))	87	小野信幸	潮力発電所施設前面における海底地形変化の特性について	小野信幸 Lee, Jae Hyung 柴木秀之	
		88	菅弘毅	再利用した貝殻のキャピラリーパリアの海浜断面変化に及ぼす影響に関する基礎的研究	菅弘毅 辻本剛三 柿木哲哉 宇野宏司 小林薫	
		89	岡野谷知樹	堤体の構成材の相違による人工リーフの断面変化に関する実験的研究	眞見浩一 岡野谷知樹 山崎英史 中村倫明 武村武 落合実	
		90	岡本光永	BGモデルによる従来型暗渠放水路口への堆砂機構の検討	宇多高明 石川仁憲 芹沢真澄 宮原志帆 石野巧 鈴木信 岡本光永	

「第41回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第3会場(4階43+44会議室)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/24(金)	9:30 ~ 10:50	海洋施設の施工 伊藤一教 大成建設(株)	91	野口仁志	網チェーン式回収装置による籠型形状ブロックの撤去方法	野口仁志
			92	金澤剛	グラブバケット巻下げ・巻上げ操作が流動場と湧りに与える影響について	金澤剛 辻北智志 中村友昭
			93	秋本早紀	作業員の指示に着目した防波堤ケーソン掘付工事におけるケーソンの挙動に対する一考察	秋本早紀 鈴木崇之 小竹康夫 後藤潤也
			94	竹内真弘	鋼構造物の腐食摩耗促進に与える海水作用の影響について	川村大徳 水木裕人 竹内真弘 木岡信治 宮崎均志
			95	阿部孝章	3次元MPS法による水板破壊過程に関する数値解析的検討	阿部孝章 吉川泰弘 木岡信治
	休憩 10分					
	11:00 ~ 12:20	海洋施設の維持管理 宮川昌宏 清水建設(株)	96	山本健太	鉄筋腐食による沿岸域の鉄筋コンクリート構造物の維持管理に関する提案	山本健太 磯田隆行 齊藤直
			97	岡崎慎一郎	種々の乾燥条件下にあるRCはりの鉄筋腐食量がひび割れの開口幅に与える影響	岡崎慎一郎 釜本拓哉 松島学
			98	藤田孝康	漁港施設における劣化予測の精度向上のための促進暴露試験	藤田孝康 中村克彦 笠井智郎 富川裕一 丸山敏生 内田智
			99	田中豊	鋼矢板の肉厚測定効率化に向けた地球統計学の適用に関する検討	田中豊 加藤絵乃
			100	磯田隆行	海洋鋼構造物全体系を考慮した電気防食の考察	磯田隆行 林稔 齊藤直
	休憩 65分					
	13:25 ~ 14:45	海洋の底質環境 中川康之 (国研)港湾空港技術研究所	101	大久保豊	各種覆砂材による底層溶存酸素量の改善効果の比較	大久保豊 山田耕一 辻博和 長坂洋光 羽山真介 村上和男 川西龍一
			102	齊藤直	汽水湖(中海)における水底泥中の有機物形態と覆砂の影響評価	齊藤直 木戸健一郎 須崎萌実 桑原智之
			103	宇野宏司	都市河川河口域における酸素消費速度の時間変化	宇野宏司 北村英映 辻本剛三 柿木哲哉
104			秋山吉寛	港灣域に優占するムラサキガイの糞の形態的特徴	秋山吉寛 井芹絵里奈 岡田知也	
105			森本優希	堆積泥の灰分(ミネラル)の供給と消費機構	森本優希 中本健二 中下慎也 日比野忠史	
休憩 10分						
14:55 ~ 16:00	波圧・波力 金澤剛 東洋建設(株)	106	陶山亮哉	斜め入射波に対するフレア型護岸の作用波圧特性に関する検討	村上啓介 陶山亮哉 黒枝亮太 真木大介 竹鼻直人	
		107	長谷川廉	洋上風車基礎部ケーブル保護管に作用する波圧に関する水理模型実験	福本幸成 佐藤功也 長谷川廉 永井紀彦	
		108	越智聖志	縦傾斜護岸背後の道路上の車面に働く越波による波力に関する検討	越智聖志 木村克俊 中村彰吾 宮武誠 上久保勝美 袖野宏樹	
		109	平野瑞樹	長径間型フラップゲート式防波堤の成立性検証および作用波力特性	平野瑞樹 木村雄一郎 水谷法美 平石哲也 間瀬肇	

「第41回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第4会場(5階52+53+54会議室)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
9:40~9:45 第一会場 開会挨拶 委員長						
6/23(木)	9:50 ~ 10:55	海洋の流動・拡散 田中陽二 東京都市大学	110	井下恭次	有明海湾奥部に流入した筑後川河水の挙動に及ぼす吹送流の影響について	井下恭次 藤家亘 矢永純一 武元将忠 小野英治 白谷栄作
			111	中村倫明	河川から福島沖に負荷された放射性物質の拡散解析	中村倫明 荒見浩一 小田晃 武村武 落合実
			112	NGUYEN THANH NGOC	Mutual interaction between Dinh An and Tran De estuaries, Mekong river, Vietnam	NGUYEN THANH NGOC 中條社大 榎本俊文
			113	池田香澄	数値計算を用いたメッシュサイズの違いによる六道湖への塩分上再現性に関する検討	池田香澄 田中陽二
休憩 10分						
11:05 ~ 12:25	海洋の土質・基礎 大塚淳一 (国研)土木研究所	114	白水元	高波作用下の前浜平衡勾配に及ぼす間隙サクション動態効果の影響	白水元 佐々真志 宮武誠 本間大輔 成田郁史	
		115	東和之	徳島市沖洲地区人工海浜で発生している「沈み込み現象」の原因究明	東和之 大田直友 橋本温 大谷社介 上月康則	
		116	福田俊	矢板式岸壁の腐食孔からの埋立土砂の吸い出し機構に関する研究	中村友昭 福田俊 趙容桓 水谷法美	
		117	大木康弘	各種法律に見る海浜土砂の解釈と災害復旧	宇多高明 五十嵐電行 大木康弘	
118	河村裕之	有孔平型ブロックの裏込め材の移動特性に関する実験的研究	河村裕之 浅田潤一郎 伊井洋和 平山慶幸 中村孝幸			
休憩 65分						
13:30 ~ 14:50	海洋の調査・計測1 山城賢 九州大学	119	佐藤知照社	海洋レーダによる流速データを用いた潮汐・吹送流および津波成分の分離法に関する研究	佐藤知照社 泉宮尊司	
		120	夏秋雄	合成開口レーダー干渉解析を利用した災害時の港湾被害の検出の検討	夏秋雄 穴原琢寿 富井直弥 琴浦毅 岩塚雄大 片山裕之 西畑剛	
		121	原野崇	航空レーザ測量オリジナルデータを用いたバラベツ天端高の把握	原野崇 諏訪義雄 下村博之 朝比奈利廣 望月貴一郎 本田根人 洲濱智幸 花田大輝	
		122	伊藤佳洋	岸壁の空洞調査における単点常時微動観測の適用性に関する基礎的考察	伊藤佳洋 長尾毅 山田雅行 森田真弘	
123	村上智一	サンゴ礁海域を対象としたSIMによる水中3次元計測の可能性	村上智一 小花和宏之 河野裕美 下川信也 田林雄 水谷晃			
休憩 10分						
15:00 ~ 16:05	海洋の調査・計測2 永井紀彦 (株)エコー	124	Kavinda Gunasekara	Satellite-based monitoring of turbidity around Hai Phong Bay, Vietnam	Kavinda Gunasekara 田島芳満 Le Hanh Chi Ho Viet Cuong Nguyen Thanh Hung	
		125	後藤祐哉	有明海及び諫早湾における濁りの経年傾向とその要因に関する一考察	後藤祐哉 横山佳裕 宇野潔 矢永純一 武元将忠 小野英治 中西弘	
		126	末島良太	UAVを活用した海岸地形変化解析に関する研究	黒崎正光 末島良太 市村康 福岡和明	
		127	渡邊博之	UAVとネットワークカメラを用いた七里御浜井田海岸における海浜変形に関する研究	渡邊博之 小林泰輔 菊雅美 中村友昭 水谷法美	

「第41回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第4会場(5階52+53+54会議室)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/24(金)	9:30 ~ 10:50	海洋エネルギー 米山治男 (国研)港湾空港技術研究所	128	小牧裕幸	高分解能潮流モデルの計算結果に基づく本州南方海域における潮流発電の適地選定	山城徹 加賀博也 小牧裕幸 広瀬直毅 劉天然 加古真一郎 山田博貴 小田巻実
			129	木原一祐	PW付加振動水柱型波力発電装置の一次、二次エネルギー変換達成法について	木原一祐 増田光一 居駒知樹 細川義史 永田修一 下道健一郎 大澤弘敬 坂本辰哉
			130	吉岡健	洋上風車のアクセス性及び耐波・耐風設計条件の海域特性に関する研究	吉岡健 坂本登 川口浩二 永井紀彦 仲井圭二
			131	渡邊由香	潮流発電装置を複数配置した流場影響評価に関する基礎的研究	渡邊由香 居駒知樹 増田光一 惠藤浩朗
132	平尾瑞樹	変動流速場に置かれた弾性支持円柱が任意バイモルフ素子を弾く渦励振電機機構の試作	細谷和範 平尾瑞樹			
休憩 10分						
11:00 ~ 12:20	海洋の利用 片山裕之 五洋建設(株)	133	石川仁憲	海水浴場における海岸利用者の安全性に関するリスク評価手法の提案	石川仁憲 風間隆宏 中川儀英 青木伸一 田中秀治 小峯力 中山昭	
		134	風間隆宏	若狭和田海水浴場における海岸利用に対する多角的なリスク評価の試み	風間隆宏 石川仁憲 中川儀英 青木伸一 田中秀治 小峯力 中山昭 細田直彦	
		135	杉野弘明	大森ふるさとの浜辺整備事業に見る海洋環境修復事業に伴う持続的合意形成の形	杉野弘明 道田豊 城山英明 八木信行 久保麻紀子 徳永佳奈恵	
		136	五明美智男	新たな里海像をめざした地域理解のための海洋教育—南房総市岩井海岸を例として	五明美智男 清水麻里 福村純一 嶋津健太	
137	澁谷容子	気候変動に伴う砂浜への影響に対する市民の意識と適応策への支払意思額に関する研究	澁谷容子 林健太郎 森信人 後藤拓海 黒岩正光			
休憩 65分						
13:25 ~ 14:45	港湾・漁港施設の整備 平石哲也 京都大学	138	加藤広之	長周期波を考慮した漁船の越波による被害の再現と対策について	加藤広之 横山大地 小林健一 西嶋靖子 佐藤勝弘 五十嵐雄介 西崎孝之	
		139	木下真吾	潮位を利用した航路航行実態に関する分析	木下真吾 安部智久	
		140	林浩志	衛生管理と鮮度保持の視点からの漁港施設整備に関する一考察	林浩志 濱田奈保子 高原裕一 丹羽真	
		141	中泉昌光	水産物輸出促進における漁港・港湾等の生産・物流機能について	中泉昌光	
142	中村亮太	東京湾における沿岸域災害対策の費用便益分析	大矢淳 柴山知也 中村亮太 岩本匠夢			
休憩 10分						
14:55 ~ 16:00	汀線変動と灘上 諏訪義雄 国土交通省 国土技術政策総合研究所	143	Dinh Van Duy	ベトナム・クアダイ河口周辺海域における広域汀線変化	Dinh Van Duy 田中仁 Nguyen Trung Viet	
		144	田中仁	ベトナム・ダラン川河口周辺の汀線変動と河口ララスとの関連	田中仁 Vo Cong Hoang Tran Minh Thanh Nguyen Trung Hiep Nguyen Trung Viet	
		145	犬飼直之	平成26年新潟県上下浜海岸水難事故時の砂浜を越える波浪の動的特性	犬飼直之 小川和真 江原義史 大竹剛史 山本浩	
		146	藤川大樹	標浜における碎波および灘上特性に関する研究	田島芳満 藤川大樹	

「第41回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第5会場(2階22+23会議室)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
9:40~9:45 第一会場 開会挨拶 委員長						
6/23(木)	9:50 ~ 10:55	潮位変動と漂砂 中塚社大 大阪市立大学	147	Channab EM	カンボジア Kampot川の感潮帯における流動機構の把握について	犬飼直之 Neam Kopy Channab EM
			148	山木克則	現地調査と室内実験によるビーチロック形成メカニズムの検討	山木克則 茅根剛 大葉英雄 洪永勲 山本将史 田中昌宏 林文慶 上野嘉之
			149	岡辺拓巳	円筒型捕砂器の特性評価と浅海域における漂砂観測への適用	岡辺拓巳 青木勇介 加藤 茂 村上智一 下川信也 河野裕美
			150	安本善征	砂除去装置を用いたサンドリサイクル工法の検討 -鳥取方式のサンドリサイクル工法-	安本善征 田代誠士 野口仁志 松原雄平 栗山善昭 黒岩正光 重松英造
休憩 10分						
11:05 ~ 12:25	海洋施設の材料 笠間清伸 九州大学	151	中本健二	還元有機泥覆砂材に活用される石炭灰造粒物の油脂類吸着性能と底質改善効果	中本健二 仁科晴貴 樋野和俊 日比野忠史	
		152	松尾暢	海砂代替材に活用される石炭灰造粒物の長期的な物理化学特性評価	中本健二 松尾暢 樋野和俊 日比野忠史	
		153	日比野忠史	鉄鋼スラグを用いた下水系土壌の有機物分解促進法の検討	日比野忠史 金城信隆 TOUCH NARONG	
		154	樋野和俊	百貫港海域環境創造事業における石炭灰造粒物の適用効果	樋野和俊 増田龍哉 及川隆仁 中本健二 光田和希 滝川清	
155	進藤里歩	廃棄物最終処分場覆土に用いる水産系副産物(貝殻)の適用性に関する実験的研究	小林薫 鈴木ひかり 進藤里歩 村上哲 松元和伸 森井俊広			
休憩 65分						
13:30 ~ 14:50	海域の生態系1 桑江朝比呂 (国研)港湾空港技術研究所	156	作野裕司	汽水湖東郷池における非接触クロロフィル推定手法の検証	作野裕司 前田晃宏 宮本康 森明寛 岡本将輝 島山恵介 九鬼貴弘	
		157	田中陽二	伊勢湾の自動水質観測装置を用いた植物プランクトンの大量発生予測システムの開発	田中陽二 杉本佑宏	
		158	大塚文和	東京湾におけるアサリ浮遊幼生の鉛直移動を考慮した浮遊シミュレーションについて	大塚文和 宋永友真 弘中真央 川西利昌 増田光一	
		159	田多一史	春季出水期におけるコムケ湖の水質変動解析と大気-海水間CO2フラックスの推定	田多一史 中山恵介 所立樹 渡辺謙太 桑江朝比呂	
160	佐野史弥	阿寒湖チュウレイ湾におけるマリモに回転運動を与える風波の将来予測に向けて	佐野史弥 中山恵介 山田俊郎 佐藤之信 丸谷靖幸 駒井克昭 尾山洋一 若菜勇			
休憩 10分						
15:00 ~ 16:05	海域の流動・地形変化 荒見浩一 日本大学	161	宮原志帆	閉鎖水域内に島(州島)がある条件下での風波による地形変化の計算	宇多高明 芥沢真澄 宮原志帆	
		162	芥沢真澄	複数の州島の端部砂州の干渉と融合による地形変化の予測	芥沢真澄 宇多高明 宮原志帆	
		163	小畑雄大	漁港航路の埋没時における波浪・流況特性	郷江岳人 小畑雄大 橋本孝治 野坂弥生 田中仁	
		164	折敷瀬翔耶	関門航路におけるサンドウェーブの特徴と発生要因に関する研究	山城賢 折敷瀬翔耶 八尋蓮 横田雅紀 橋本典明 平澤完成 宮崎啓司 的野一郎	

「第41回 海洋開発シンポジウム」講演プログラム
第5会場(2階22+23会議室)

日	時間	セッション名 座長	番号	発表者名	論文名	著者名
6/24(金)	9:30 ~ 10:50	海域の生態系2 岡田知也 国土交通省 国土技術政策総合研究所	165	瀬戸岳史	寿都漁港背後小段上の海藻の変動特性と推定手法	山下俊彦 瀬戸岳史 佐藤仁
			166	杉本憲司	岩礁性藻場生育基盤材料の種類及び造成形状の違いによる海藻着生と魚類増殖の効果	杉本憲司 高濱繁盛 中野彌一 山本良次 土田孝 関根雅彦 岡田光正
			167	河野裕美	西表島浦内川河川域におけるオセルギの植生分布とその物理環境	村上智一 谷野賢二 南秀樹 三浦博 嶋原健 水谷晃 下川信也 河野裕美
			168	岩村俊平	環境保全措置として実施した群生サンゴ移植事例の技術的レビュー	前里尚 権原康友 岩村俊平 片山理恵 高橋由浩
169	湯本裕之	養殖事業が行われている七里ガ浜海岸におけるエビアマモの生育実態	湯本裕之 佐々木香織 藍田正樹 南里吉輝 蛸野之			
休憩 10分						
11:00 ~ 12:20	海域の生態系3 日比野忠史 広島大学	170	倉原義之介	沿岸域の開発と再生事業による生物環境へのレスポンスフローに関する一考察	倉原義之介 増田龍哉 田中ゆう子 滝川清	
		171	井口薫	形状の異なる3タイプの生物共生型護岸の生物相改善効果のモニタリングと評価	井口薫 相馬昇 松崎忠彦 岡田知也 細川恭史 藤原建紀	
		172	高田直武	高波イベントによる砂浜生物分布の変化と地盤環境適合性の一般性	梁順普 佐々真志 渡辺啓太 高田直武	
		173	中山恵介	Roberts Bank tidal flatにおけるbiofilm形成に重要な物理・場分環境の要因解析	中山恵介 駒井克昭 Robert W. Elner 桑江朝比呂	
174	園田吉弘	八代海における底生生物分布と底質環境の特性把握	園田吉弘 滝川清			
休憩 65分						
13:25 ~ 14:45	海域の生態系4 高山百合子 大成建設(株)	175	中村明日人	東海域における人工魚礁の環境改善機能に関する定量的評価	中村明日人 石橋一樹 市村康 末永慶寛 城越徹矢 山地功二	
		176	梶原瑞美子	衛星画像による海底被覆物マップを用いた漁場環境評価手法の検討	梶原瑞美子 大橋正臣 三上信雄 南部亮元 桑原久美	
		177	井上太之	西表島網取湾ウダラ川汽水域の潮汐に伴う場分動態および優占する魚類の分布	井上太之 村上智一 南條裕士 水谷晃 河野裕美	
		178	竹山佳奈	地盤環境を考慮したアサリ成育場の新たな維持・管理手法の開発と現地試験による実証	竹山佳奈 佐々真志 梁順普 渡辺啓太 齋藤輝彦	
179	井上智子	還元有機泥堆積干潟で覆砂材に活用される石炭灰造粒物のアサリ生息基盤への適用性評価	中本健二 井上智子 仁科晴貴 樋野和俊 日比野忠史			
休憩 10分						
14:55 ~ 16:00	海上輸送 森屋陽一 五洋建設(株)	180	赤倉康寛	米国西岸港湾の混乱による国際海上コンテナ輸送への影響に関する基礎的研究	赤倉康寛 小野憲司	
		181	木下拓真	横浜港コンテナターミナルにおけるターンタイム分析	木下拓真 野口孝俊 藤田順史	
		182	塩谷茂明	陸上から操舵指令発令による操船支援システム開発について	塩谷茂明 寺井克年 柳馨竹	
		183	村上麻衣	瀬戸内海における危険物搭載船舶の交通調査について	塩谷茂明 村上麻衣 柳馨竹	